



Tokyo Gakugei University Repository

東京学芸大学リポジトリ

<http://ir.u-gakugei.ac.jp/>

Title	山下脩二先生を送る (山下脩二先生退官記念特集 ; 山下脩二先生に捧ぐ)( fulltext )
Author(s)	上野,和彦
Citation	学芸地理(57): 11
Issue Date	2003-03-01
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2309/38635">http://hdl.handle.net/2309/38635</a>
Publisher	東京学芸大学地理学会
Rights	

## 山下脩二先生を送る

上野和彦

山下脩二先生は2003年3月31日付けで、東京学芸大学において定年退官されることになりました。ここに地理学研究室と学芸地理学会を代表して、永年にわたる先生のご指導とご尽力にたいし、心から感謝し、お礼を申し上げます。

先生は、ご在任中、学科主任、研究室主任、教室主任、大学院講座主任として学科・研究室・教室の充実に邁進し、また、学芸地理学会の会長として会員の指導にあたられました。さらに本学の附属環境教育実践施設長、大学院連合学校教育研究科長(博士課程)、その他多くの委員を引き受け、大学全般の運営に貢献されました。とくに環境教育実践施設長として、地球規模の環境問題に教育側から取り組むGLOBE Japan(「環境のための地球学習観測プログラム」)の活動に積極的に取り組み、学内のみならず日本の環境教育に携わる多くの教師の指導にもあたられました。また、連合学校教育研究科長として、まだ歴史の浅く、課題満載の連合学校教育研究科運営の舵取りと課題解決を着実に進め、博士課程の基礎を築き、発展させるなど、多大な功績をあげています。

山下先生は1969年東京教育大学大学院博士課程を修了し、その時点で理学博士号を取得し、その後、神奈川県公害センター、カルガリ大学(カナダ)留学、カナダ環境省大環境研究部客員研究員、愛知大学を経て、1977年4月に東京学芸大学に赴任された。以来26年間、東京学芸大学地理学研究室(教室)の研究と教育を支えてこられました。先生の専門は気候学で、一貫して地球環境の中でも大気循環の様相を追究し、とくに都市気候学-ヒートアイランドの研究においては日本における先駆者としてすぐれた研究を重ねてきました。カナダ、ブラジルなど海外地域調査もたびたび行い、新たな知見を私どもにご披露、ご指導いただいたことも記憶に残る

ところでした。また、長らく日中地理学会議の事務局を勤められ、中国研究にも大きな役割を果たしています。先生の業績はこうした学問的なものに限らず、その教育指導も十分に発揮されています。気候学を専攻した学生たちは、いまや気象協会や教育・研究の場などで大いに活躍され、先生の指導力は高く評価されるところです。その指導力は広く地理教育全般に広げられ、現在は日本地理教育学会の会長として多くの会員の指導にあたられています。

周知のように、平素先生は木訥として自ら語ることはあまり好まず、黙々と責務に精進され、その誠意と実行力は私たちに無言の教訓を与えました。また、周囲を気遣うやさしさや本筋を見据えたご意見、そしてなによりも教育と研究に対する情熱に私たちはこの上ない励ましと夢を与えられました。いま先生をお送りするにあたって、私たちは惜別の情に耐えません。先生にはご退官後もますますご健勝でお過ごしになられ、私たちに励ましとご叱正をいただく機会を与えて下さることをお願い申し上げます。

蕪辞をもって先生をお送りする挨拶にかえさせていただきます。

(2003年1月1日)